



# 岸川中だより

## 「夢」

校長 三浦 伸之

2025年が始まりあっという間に2週間が過ぎました。みなさん、よいお正月をお過ごしになられたでしょうか。私は年末から風邪をひき、のどの痛みと若干の咳・寒気と共に除夜の鐘を聞きながら新年を迎えました。ですから元日は近所の神社に恒例の初詣とおみくじを引くことだけをしに行き、あとは体調もあまり良くないので家でグダグダと過ごしていました(風邪をひいてなくてもグダグダですが)。グダグダしながら何度もウトウトし、目が覚めればTVを見て、またウトウトし、などという「This is 寝正月」を続けていたのですが、夕方頃、「ハッ」と気づいてしまったことがあります。「初夢」っていつなの?今このうとうとしている間にも、覚えてはいないけど変な夢を見ていた気がする。もしかしてこれが今年の初夢?いやいや、初夢は元日から2日にみる夢だよな?元日から心がザワザワと。心を落ち着かせるために初夢について調べてみたところ、最初にヒットしたのが「初夢とは元日の夜から2日にかけてみる夢のこと。」と出てきました。「ホッ」。しかし、その後には、「ただし、元日に寝なかった場合は翌日の夢を初夢とする場合もある。」「その年初めて見た夢が、初夢。」と載っており、「結局、自分の都合でいいんだ。」と自分に都合よく解釈しました。ということで「自分の初夢はこれから」と元日の夜、初夢を楽しみに張り切って寝ました。2日朝、確かにいくつか夢を見たことは覚えているのですが、ストーリーとして記憶に残っているのは・・・122号線を運転しているといきなり酷い渋滞に巻き込まれます。場所は南鳩ヶ谷付近。「なんだよ。この渋滞は!」と運転しながら文句を言っている私。少し進むと、私の車線のアスファルトが10メートルくらいの区間でめくれあがっていて土が見えている状態になっているではありませんか。すると隣の車のドライバーがニヤニヤと私を見て笑っている。頭にきて「誰だこんなことする奴!ふざけんな。」と悪態をついて隣の車線に合流する。というところで目が覚めました「なんて夢だ。どこにも良いことがない。」と思って一応すぐに夢判断で調べてみると、「交通渋滞の夢は、最小の労力で、たくさんの方が得られる。目の前に様々なきっかけがあるからよく見なさい。そして渋滞から抜けるということは、今の状況から自分のやりたい方向性を見つけて、一歩前進することを表している。」とのことでした。「いい夢じゃないか!」とネットから自分に都合の良い所だけ切り取って悦に入っていた私でした。そういえば、昔から縁起の良い初夢として「一富士・二鷹・三茄子」と言います。これは、徳川家康が富士山・鷹狩・初物の茄子を好んだからとか(諸説あります)。でも、本当にこんな夢を見る人がいるのでしょうか?そもそも夢とは、起きてるときに体験したことを脳の中で整理し、記憶を整えるものとされています(諸説あります)。体験もしていない「一富士~」を見ることができのでしょうか。もし、見たことがある方がいるなら、内容を教えてほしい欲しいです。さて、「夢」という言葉には、「寝ている時に見る夢」と「未来の夢」のように2つの意味がありますよね?なぜ、全然違うものなのに、同じ「夢」という言葉なのでしょう?それには次のような理由がありました。昔から睡眠時に見る方の「夢」という言葉は日本に存在していたようです。しかし明治以降に「Dream」という言葉が海外から入ってきました。この「Dream」には睡眠時と覚醒時両方の「夢」の意味があり、その影響を受け「夢」という言葉に2種類の意味ができたそうです。睡眠時の「夢」は我々にはコントロールできませんが、未来に対する「夢」は自身の努力次第で実現できるものがたくさんあります。子どもたちが安心して大きな「夢」をもてる社会を大人が作る。そんな2025年にできたらと思います。

令和5年度全国健康づくり推進学校最優秀校を受賞しました

令和6年度学校保健文部科学大臣賞を受賞しました

2024 Kishikawa.J.H.S 51<sup>st</sup>